

田中 克周 議員

導入が迫っている裁判員制度に対する市民の不安への対応は

Q 問 積極的な広報活動により、市民への周知徹底を図るべきではないか。

A 答 裁判所が開催する裁判員制度のミニフォーラムや模擬裁判等へ積極的に参加を呼びかけながら、市のホームページ等を活用し、裁判員の仕事や制度の仕組みを具体的にわかりやすく伝えるよう努めていく。

Q 問 裁判員に決定した場合、精神的なダメージや生活上の支障に対するケアを、どのように考えているか。

A 答 精神的なダメージや悩み等の相談があった場合には、裁判所と連携をとりながらケアに努めたい。

Q 問 対象裁判は1年で何件くらいで、袋井市民の裁判員候補者は何人くらいか。また、実際に決定される人数は何人くらいと想定されるか。

A 答 静岡地方裁判所浜松支部管内の18年中の裁判員制度の対象事件は19件で、全国平均の2分の1。これをもとに、本市で候補者として選出される人数は、1年間で170人前後と推計している。実際に裁判員または補充裁判員として裁判に参加する人数は16人前後と想定されている。



裁判員制度のパンフレット

広岡 宥樹 議員

うば捨て医療制度中止の声を

Q 問 75歳以上を囲い込む、粗療粗診、保険料天井知らずのこの制度を「将来にわたって継続可能な」ものとするか。

A 答 少子高齢化が進む中で、医療保険制度を持続可能なものとするために創設されたと認識している。

全国一斉学力テストは抽出調査で十分

Q 問 4月にやって電算処理結果のみが半年後に返されるテストを卒業を控えた児童・生徒の指導に生かすこと不可能。抽出で。

A 答 今年度はもっと早く公表されることである。全児童・生徒が調査を受けることで、自分自身を振り返ることができたため、

児童・生徒1人1人にとっても有効な調査であったと考えている。

職員の創意工夫の空気醸成を

Q 問 ワンステップアップ運動批判の声もあるが。

A 答 運動の意図が伝わっていないのなら、もう少し丁寧に、この運動の目的など意を配さなければならないと考えている。



全国一斉に行われた学力学習状況調査